

DRLsMMG2025 検討のための当院における平均乳腺線量に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

患者さんの医療被ばくに関して、医療行為での画像診断に線量限度は設けられていません。これは医療被ばくの線量を制限することにより、病気の診断に支障をきたす可能性を排除するためです。しかし、病気をみつけるという利益を追求しすぎると被ばく線量が多くなり、結果的に患者さんにとって不利益が生じる可能性があります。

日本では診療用放射線に関する安全管理体制を整えるべく、医療法施行規則の一部改正が2020年4月に施行され、医療機関では医療被ばく（放射線量）の管理・記録が義務化されています。線量管理を行う上でガイドラインの一つである『診断参考レベル』（医療被ばく研究情報ネットワーク（J-RIME）公開）は、2015年6月の初公表後、2020年7月の改訂を経て、医療現場の放射線診療における線量最適化の意識向上に繋がっています。

現在、次の改訂に向けて各領域で検討が始まっており、全国の医療機関を対象にデータ収集が行われる予定ですが、データ作成方法がまだ浸透していないという課題があります。今回、特にマンモグラフィ領域における診断参考レベル2025（DRLsMMG2025）に求められるデータ収集を見据え、九州内の医療機関を対象とした線量データの抽出方法等の勉強会が計画されています。この研究は、参考事例として当院での2022年度1年分のマンモグラフィ撮影時の線量データを検証することを目的として実施します。

研究の対象となる方

2022年4月～2023年3月までに当院でマンモグラフィ検査を受けられた方

使用する試料・情報

マンモグラフィ撮影時の撮影条件、乳房の構成（厚さ、乳腺濃度）、撮影線量、患者情報（年齢、性別のみ）

研究予定期間

2024年1月5日～2024年1月27日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 中央放射線部 榎田智美

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が

無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 中央放射線部 樋田智美

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)